

(お知らせ)

定期検査中の福島第二原子力発電所3号機原子炉圧力容器内における
異物の確認について

平成19年4月9日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

当所3号機(沸騰水型、定格出力110万キロワット)は、平成19年3月9日より第14回定期検査を実施しておりますが、4月5日より原子炉圧力容器内のジェットポンプのビーム[※]交換作業の準備を行っていたところ、本日午前8時27分頃、ビームをジェットポンプに取り付けているボルトを固定する金具のボルトが付いていないことを確認し、当該ビームの近傍にて当該ボルトらしきものを発見いたしました。

今後、当該ボルトを回収するとともに、詳細に調査を実施いたします。

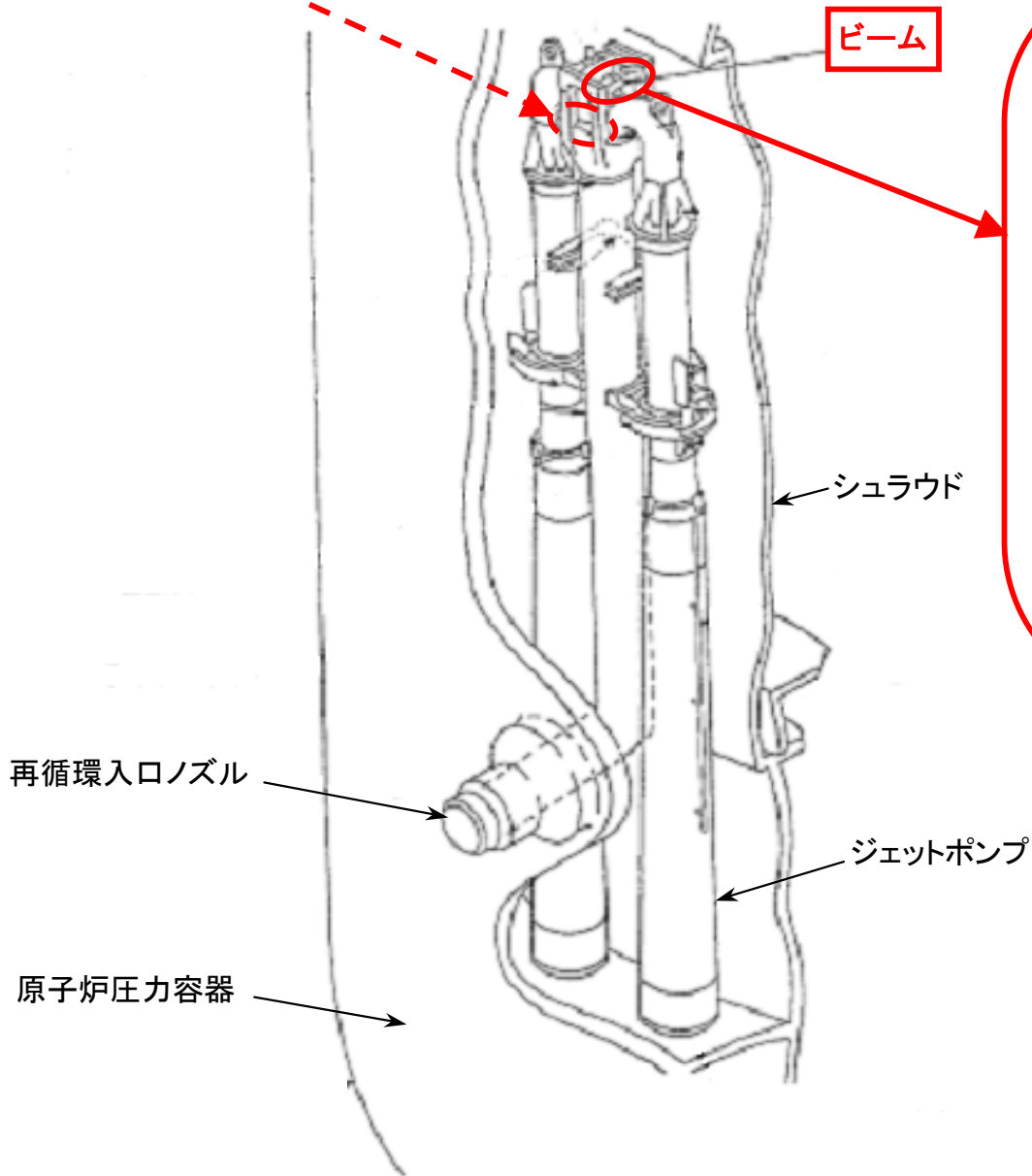
以上

※：ジェットポンプのビーム

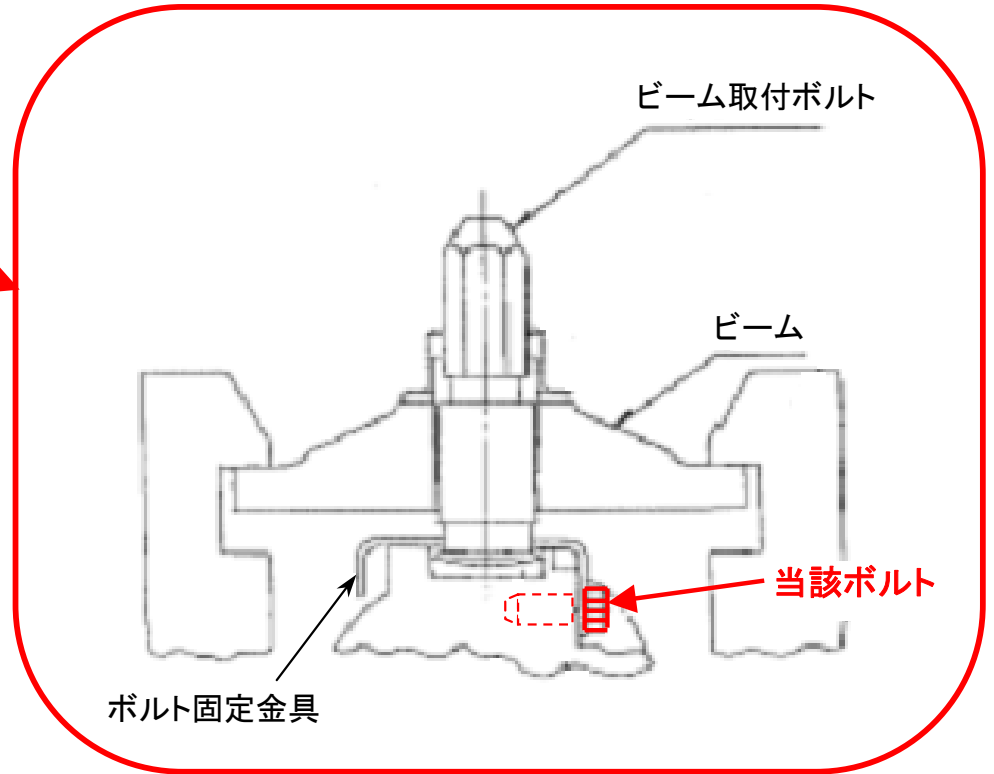
ジェットポンプとは、原子炉再循環ポンプにより加圧された水を利用し、原子炉内の冷却水を循環させる回転部を持たない静止型のポンプで、ビームはその構成部品の一つ。

なお、ビームをジェットポンプに取り付けているボルトを固定する金具については、ビームを取り外した際のボルト脱落防止のため設置していたが、ビームとボルトを一体で交換することにより、ボルトが脱落することがなくなったため、今回の定期検査で撤去予定である。

ボルト発見箇所



ジェットポンプ概要図



ビーム部拡大概要図